

避難訓練を実施

木ノ子・扇石・汐吹

9月2日、木ノ子、扇石、汐吹の3地区で、地震による津波発生を想定した避難訓練を実施し、70名の方が参加しました。

参加者の中には、避難を促す放送が流れてから50秒で避難を完了した方や非常用持出袋を持参して避難をした方がおり、各々が災害時にとるべき行動を実践し訓練に臨みました。

津波のスピードは海岸近くでは時速36kmとなり、津波が見えてから走ったのでは逃げ遅れてしまいます。強い揺れや長い揺れを感じたらすぐに避難をしましょう。



マイナンバーカード

休日申請・交付実施

9月11日、25日に住民課でマイナンバーカードの申請サポートおよび休日交付が行われました。

これらの取組みは町民へのマイナンバーカード普及促進のため、平日に手続きをすることができない方むけに7月から開始し、8月末までのべ22人の方が訪れており、今後も継続する予定です。

休日交付を受けた小林諭さん（字大留）は「仕事の関係で平日は役場に行けないので、休日に受け取ることができてよかった」と話していました。



鳥居を新しくしました

湯ノ岱・稻荷神社

湯ノ岱地区では、同地区にある稻荷神社の鳥居の一部が腐っていたことから、8月27日に神社役員6人で新しい鳥居に建て替えをし、9月10日の神社祭りにあわせて魂入れを行いました。

これは役員が管理について話し合った結果、建て替えできるうちに続けていこうという意見が上がり、役員の三浦安則さん（字湯ノ岱）が中心となって進められました。

三浦さんは「設計は自分が行ったが、製材や制作をした企業や仲間たちの協力があって完成した」と話していました。



子ども太鼓披露

新村地区豊年山保存会

9月10日、新村地区豊年山保存会は新型コロナウイルス感染症対策のため山車の巡行を中止しましたが、代わりに新村交流館前で山車のお披露目を行い、子どもたちが伝統の太鼓を披露しました。

お披露目に向け保存会のスタッフや高校生たちが小学生に太鼓を指導し、当日は山車に衣装などを飾り付けし、集まった地域の方々に練習の成果を発表しました。

初めて太鼓を叩いた子は「太鼓のリズムの早さについていけないけど祭りは楽しい」と話し、祭りの気分を味わっていました。

